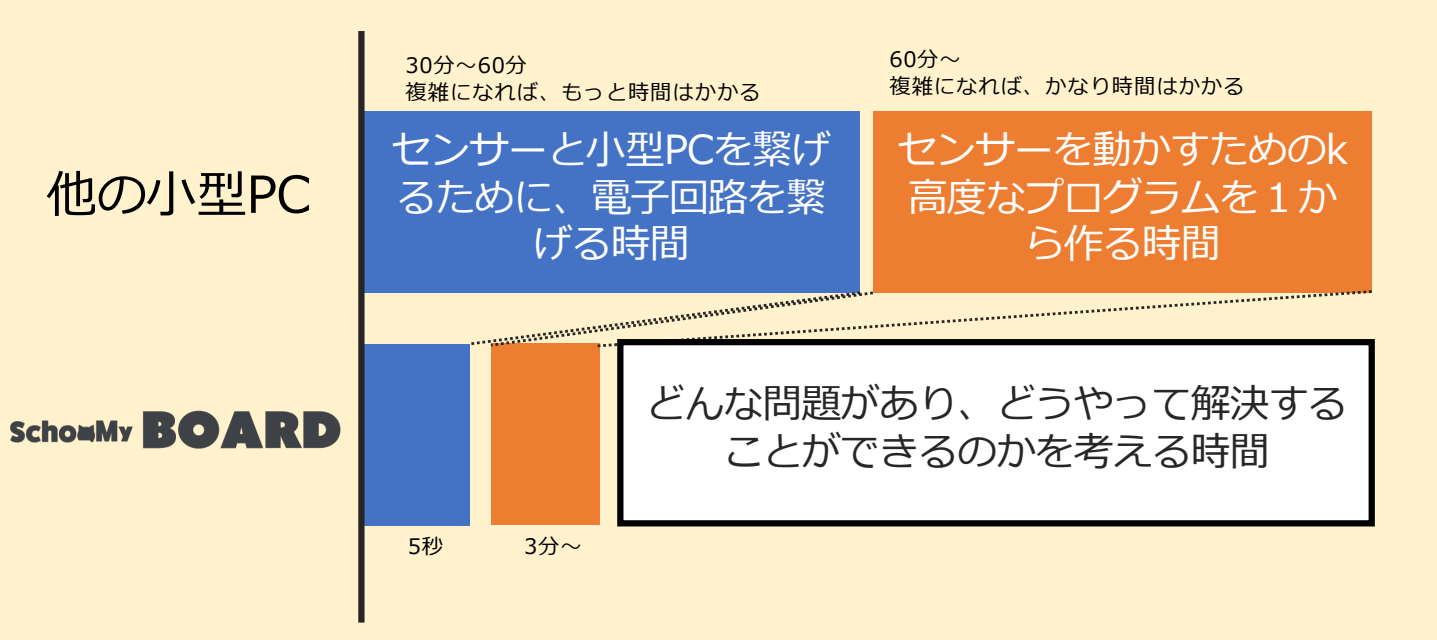
SchoMy

スクーミーボードは、センサーをUSBでつないで、単４電池で動すことができる小さなコンピューターです。センサーは50種類以上あります。

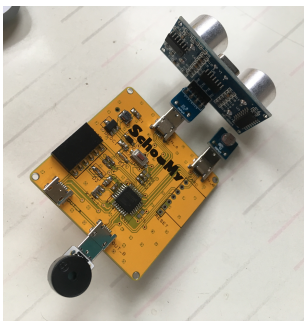


センサーを動かしすまでに、従来のものと比べて、**約30倍**、開発スピードが速くなります。

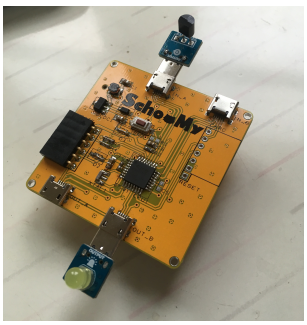
理由は、半田付けの必要がなく、センサーをマイクロUSBでつなぐだけで回路が完成し、プログラムはブロックで組むことができたり、ホームページに用意されているものを入れるだけで動きます。また単４電池で動くので手軽にプロトタイプや仕組みをつくることができます。

知識がなくても誰でもできるようになり、扱うセンサーが複雑になった場合でも、つなぐだけで完結します。従来の小型PCよりも、早くつなげることができ、楽にプログラミングができるので、**プログラミングをすること以外で、どんな問題があり、どうやって解決することができるのかを考える**ことができます。

センサー種類
・音
・温度
・湿度
・水温
・振動
・磁気
・圧力
・加速度
・水流
・におい
・距離
・明るさ
・人感（赤外線）
・土壌水分
・二酸化炭素濃度
・気圧
・色
・曲げ
などなど



距離センサー・光センサー
スピーカー
夜、誰かが近づいたら、音がなる装置



温度センサー
LED
教室が３０度以上になったら光って知らせてくれる装置

水流センサー
スピーカー
水の流れが一定の流れより早くなったら音がなる装置

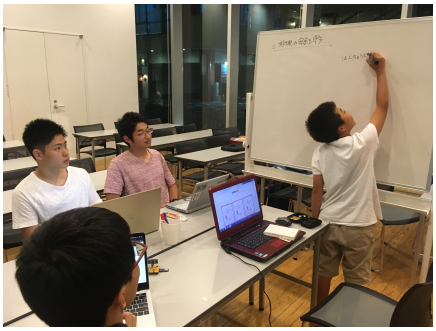
※キット費用は3,000円から購入可能です（センサー３つセット）。またレンタルも承っております。詳細はHPから。

スクーミーブランドはESD教育に取り組んでいます。
テクノロジーを活用した、より良い社会の実現に向けて様々な学びを提供しています。

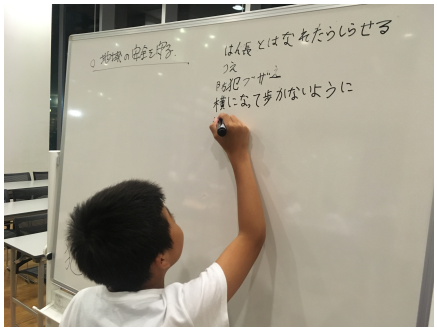
事例紹介から抜粋しています。（他の実績は、下のQRコードから見れます）

紹介動画

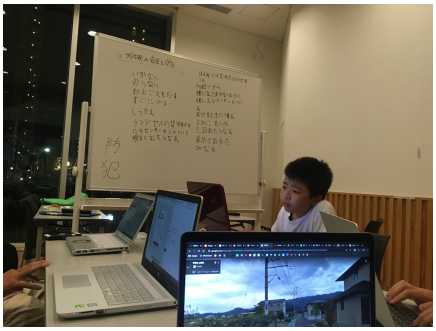
防災教育 × テクノロジー
（ICT教育と合わせた先進事例）



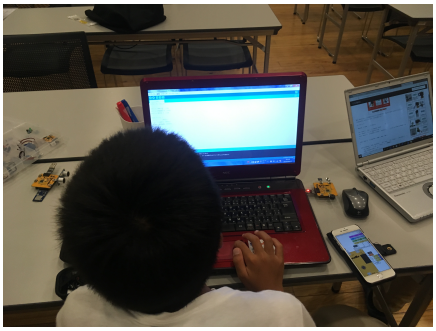
山梨県立図書館で山梨大学大学生とその地域の小学生がチームを作り、19時～21時の2時間、実施しました。



書記も小学生が担当し、どんなものがあったらいいかの意見だしを行いました。

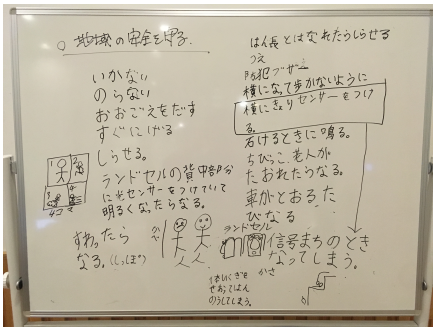


小学校から自宅までのルートを**GoogleMAP**を活用して見て、どのエリアが危ないかなどをチェックしました。



アイデア出しが完了したら、**スクーミーボード**を活用して開発に入りました。

完成したものをランドセルにつけて完成です。実際に使ってみました。



でたアイデアです。アイデアに対して、どんな場面を想定しているのかを細く話し合いました。動画作成は**iPad・Mac**を使用しました。

ランドセルの表面が暗くなることと、ランドセルの背中につける部分が明るくなることは、登下校中には基本的にはありえない。そのため、光センサーをつけておき、本来明るくなったり、暗くなったりしない部分がそうなった時を感知して、ランドセルに搭載されているスピーカーから音がなることで防犯ブザーの形になると判断。

想定される場面

・何かあった時、ランドセルをとって逃げるとアラートが鳴る
・万が一車に乗せられた時、ランドセルの表面が背中にくっつくのでアラートが鳴る
・壁に追い込まれた時、壁にランドセルの表面をつけるとアラートが鳴る
・倒れた時、なんとかして、ランドセルの表面を地面につければ合図ができる

基本状態	異常状態	異常状態	異常状態
明	暗	明	暗
暗	暗	明	明

会社紹介

参考リンク

HPはこちらから　実績はこちら

《問合せ先》
株式会社ライカーズアカデミア
代表取締役CEO 塩島 諒輔
MAIL：contact@schoomy.com
TEL　：070-6484-4167
ADRESS：山梨県山梨市小原東381イセヤビル303